

全 森 建

第154号

令和元年8月1日

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
永田町ビル 4階

一般社団法人
全国森林土木建設業協会

発行責任者 高畑博之 TEL.03-3581-3336
FAX.03-3581-3341

令和元年度「全森建」定時総会を開催

「全森建」では、去る6月19日(水)、東京都内の霞山会館において、令和元年度定時総会を開催しました。ご来賓として、牧元幸司林野庁

長官(当時)をはじめ幹部の皆様、林業関係団体からは、(一社)日本林業協会前田直登会長、(二社)日本治山治水協会津元頼光専務理事



「有間峠から有間ダムを望む」(飯能市下名栗)

【写真提供：(株)浅見建設 浅見彰夫氏 (埼玉県森林土木建設業協会会員)】



令和元年度定時総会

並びに(二社)日本林業土木連合協会菊池博輝専務理事にご臨席をいただきました。
竹尾通洋副会長の開会のことばの後、嶋崎勝昭会長は次のように挨拶しました。
『近年、全国各地で甚大な自然災害が発生しており、昨年も7月の西日本豪雨や北海道胆振東部地震などにより多くの方が犠牲になりました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。
これらの災害を受けて、林野庁初め森林整備・治山議連の諸先生のご尽力、また、全森建会員のご支援により、今年度の林野公予算は、「防災・減災、国土強靱化緊急森林対策」が盛り込まれ、30年



来賓ご挨拶
(一社) 日本林業協会
前田直登 会長

一方、新たな森林管理システムの導入や森林環境譲与税等の創設の下、幹線林道の整備や既存の林道の改良整備が重要課題とされています。



来賓ご挨拶
牧元幸司 林野庁長官 (当時)

この緊急対策ですが、全国にはまだ多くの山地災害の危険箇所や荒廃森林、法面崩壊の危険性の高い林道も数多く存在しています。

野公共予算の増額確保をお願いします。
現在、国を挙げて「働き方改革」として、週休2日の推進に向けて様々な取組がなされていますが、5年前に改正された品確法・建設業法・入契法が再度見直しされ、いわゆる「新・担い手3法」が国会で成立しました。

担い手の確保のため、「適正な工期の設定」、「公共工事の施工時期の平準化」に向けた取組などが条文に盛り込まれています。

私たちも発注者と連携しながら、工程の共同管理やICT情報通信技術等を活用した生産性向上等に努め、自然災害から国民の生命・財産を守るとともに、林業生産基盤を整備するという、森林土木業界に課せられた役割や使命を果たしていきたいと考えています。」
(会長挨拶全文3頁に掲載)

次いで、牧元林野庁長官に、また、林業関係団体を代表して前田(一社)日本林業協会会長にご祝辞をいただきました。

その後、議事に移り、定時総会成立宣言の後、定款に則り、議長に嶋崎会長を選任し、上程された「平成30年度決算について」、「令和元年度会費の賦課及び納入の方法について」、「決議について」及び

「役員改選について」が、原案どおり承認、決議されました。

また、理事会で承認された「令和元年度事業計画及び収支予算について」も報告されました。

最後に、梶村司副会長の閉会のことばで、令和元年度の定時総会を締めくくりました。

令和元年度 主要事業計画

1 林野公共事業関連団体との連携強化

国民生活の安全・安心を支えるとともに地球温暖化防止対策にも寄与する森林の保全・整備を推進するため、林野公共事業の拡充・強化及び農山漁村地域の活性化につながる予算を確保するため、林野公共事業関連団体との連携を強化しつつ一体的な要請活動・運動を展開していくこととする。

2 協会活動計画

「全森建」活動に当たっては、公益目的支出計画実施事業の遂行を念頭に置きつつ、経費の節減と効率的な事業運営を図るとともに、各協(議)会の厳しい運営状況に配

意した活動計画を策定する。

(1) 定時総会

「全森建」の活動方針等を決定するため、6月、東京都内で開催する。

(2) 正・副会長会議及び理事会

「全森建」の円滑な運営と活動方針等を討議するため、東京都内で原則2回(6月・1月)開催する。

(3) 常勤役員・事務局長等会議

協会活動を円滑に実施していくための情報交換に努めることとし、原則として、1月の「正・副会長会議及び理事会」の翌日に開催する。

(4) 技術・労働委員会

技術・労働委員会においては、森林土木事業の適正な施工の確保や工事の品質確保、また働き方改革を通じて担い手の確保に資するよう、森林土木事業における効率的・効果的な事業執行、提出書類の簡素化等による生産性向上、実態に即し適正な利潤が確保される設計・積算、適正な工期設定等のあり方、「森林分野CPD」を中心とする技術力向上支援のあり方等について調査・検討する。

また、重大災害の発生を踏まえ、労働安全・福祉対策、労働



会長挨拶

(一社) 全国森林土木建設業協会会長
嶋崎勝昭

令和元年度定時総会開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、定時総会の開催をご案内しましたところ、会員の皆様には全国各地からご参集いただきありがとうございます。また、公務ご多用にもかかわらずご来賓として、牧元林野庁長官はじめ幹部の皆様、また、前田(一社)日本林業協会会長はじめ関係団体の皆様にもご臨席いただき誠にありがとうございます。

平素は、ご列席の皆様には、「全森建」の活動・運営にあたり、格別のご支援・ご協力を賜り、篤くお礼申し上げます。

また、先ほどの表彰式において、受賞された皆様にお祝い申し上げますとともに、日頃のご尽力に敬意を表する次第です。今後益々のご活躍・ご精進をご祈念申し上げます。

さて、近年、全国各地で甚大な自然災害が発生しています。昨年も7月の西日本豪雨、9月の台風21号、また北海道胆振東部地震などにより多くの方が犠牲になりました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げ

げますとともに、被災者が一日も早く安心した暮らしを取り戻せるよう、復旧・復興の推進・加速化を念願しております。

これらの災害を受けて、林野庁長官初め幹部の皆様はもとより、森林整備・治山事業促進議員連盟の諸先生方、関係者の方々のご尽力により、また、全森建会員の皆様方の大きなご支援によりまして、お陰様で、今年度の林野公共预算につきましては、「防災・減災、国土強靱化緊急森林対策」が盛り込まれ、30年度補正予算も加えますと、10年前の水準に匹敵するという大きな予算を確保していただきました。ご尽力いただきました皆様にお礼申し上げます。

この折角確保していただきました予算をしっかりと執行するように本日も列席の会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

この「国土強靱化森林緊急対策」でございますが、まだ全国には多くの山地災害の危険箇所や荒廃森林が存在するとともに、法面崩壊の危険性の高い林道も数多く存在しており

ます。今後、更に異常気象等によりかつて経験したことのないスーパー台風等の発生も予測されています。

一方、本年度から本格的にスタートする新たな森林管理システムの下で、林業成長産業化を推進していくためには、機械化による安定的な木材供給のための、大型車両が通行可能な幹線林道の整備を加速化するとともに、既存の林道施設を災害に強い林道に改良整備して有効活用していくことが重要課題とされています。

したがって、今般の3カ年間の緊急森林対策の終了後も、将来を見据え、今年度の林野公共预算のような増額確保につきまして、計画的・継続的にお願いしたいと考えております。現在、国を挙げて「働き方改革」として、週休2日の推進に向けて様々な取組がなされておりますが、今般、5年前に改正された品確法、建設業法、入契法が再度見直しされ、いわゆる「新・担い手3法」が今国会で成立しました。

担い手の確保のため、「災害時の緊急対応の充実強化」や「生産性向上への取組」とともに、「働き方改革への対応」として、「適正な工期の設定」、「公共工事の施工時期の平準化」に向けた取組などが条文に盛り込まれています。

私どもの現場は、公共预算の大幅な削減により、機械、人員もギリギリ

りの状態になっており、災害時の緊急対応はもとより、災害復旧に関してもその対応が難しくなっております。

会社の存続、担い手の確保に向けて、週休2日は最重要課題であり、その実現のためには、事業量の確保と適正な利潤の確保、適正な工期、平準化発注、また、不調不落が生じないような様々な工夫や配慮をお願いしたいと考えております。

私たちも発注者と連携しながら、工程の共同管理やICT情報通信技術等を活用した生産性向上等に努め、自然災害から国民の生命・財産を守るとともに、林業生産基盤を整備するという、森林土木業界に課せられた役割や使命を果たしていきたいと考えております。

森林土木事業を取り巻く諸情勢が依然として厳しい中であって、皆様の協会の運営状況も年々厳しさを増していることと思っておりますが、全国の会員の皆様と連携しながら、この難局を乗り切っていきたいと思っております。本日の総会におきましては、平成30年度事業報告・決算関係、また令和元年度会費の納入の件、役員改選等についてご審議をお願いしたいと思います。

結びに、会員の皆様はじめご来賓の皆様のご活躍・ご健勝をお祈り申し上げ、総会開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。

(2 ページよりつづく)

環境改善対策等の調査・検討を進めるとともに、担い手の育成・確保等の諸問題について調査・検討を行う。

委員会の開催は、基本的に東京都内で年 1 回、11 月頃の開催とするが、各協(議)会における各都道府県との意見交換等に基づき、改善に向けた情報交換等を積極的に行うこととする。

(5) 労働安全ポスター等の制作・配布(公益目的支出計画実施事業)

森林土木事業に係る労働安全意識の高揚やその意義を広く国民に普及啓発するためポスターの制作・配布を行う。

(6) 「全森建」福祉共済制度の運営
「全森建」福祉共済制度は、平成 7 年に創設以来、労働災害時等における負担軽減を図るとともに、「全森建」会員の絆を深めるために保険内容の充実に努めてきたところであるが、加入者の減少傾向が続く中、加入促進を図るため、今後とも各協(議)会及び引受保険会社の協力も得ながら、魅力ある制度として充実していくための検討を行うとともに、さらなる普及・啓発に努める。

(7) 「全森建」研修(公益目的支出

計画実施事業)

森林土木総合技術研修を中央研修として企画・実施するとともに、各協(議)会が実施する各種研修等への講師斡旋及び経費の一部を助成する。

なお、森林土木総合技術研修については森林分野 CPD 認定機関(JAFEE)に登録した上で実施するとともに、各協(議)会の実施する各種研修等においてもその促進を図る。

(8) 表彰

森林土木業界の発展、技術の向上、労働安全、経営基盤の強化等に尽力された方々について、表彰候補者の審査、表彰行事の開催等を行う。

(9) 広報・普及啓発活動

① 情報提供の中心となる会報の発行は引き続き季刊(4、7、10、1月)とし、森林土木事業関係に係る予算・税制関係、労働災害防止、技術向上等に関する情報をはじめ、森林・林業・木材産業等に関する広範な情報、また「地方協(議)会だより」欄による各協(議)会の活動状況や入札制度など、各協(議)会活動に資する幅広い情報の相互伝達を図ることとする。

これらのうち、緊要な中央情報等についてはメール等により迅速な提供に努めるとともに、「全森建」、各協(議)会等の活動紹介や、担い手の参入につながる魅力ある産業となるように、森林土木事業の社会的重要性等を PR する媒体としてホームページの一層の活用を図ることとする。

② 地方協(議)会総会、ブロック会議等に積極的に参加し、情報提供や地域の諸情勢等の把握により、各種施策への反映に努めることとする。

③ 森林土木事業における重大災害の発生状況を踏まえ、労働災害発生事例等災害防止関係情報の収集・提供に努め、森林土木事業における災害の未

然防止に努めることとする。

(10) その他の活動

① 間伐・路網整備を中心とする森林整備や林建協働への参入、関係行政機関との防災協定締結、ボランティア活動等による地域社会の安全・安心等への貢献、信頼関係の構築などの在り方について検討するとともに、その普及促進を図る。

② 会員の労働安全の確保及び施工技術向上のため、労働災害防止事例、森林土木技術等の普及を図る。

③ インフラ施設の維持管理の様々な取組に対する公募・表彰等、種々の機会を捉えて、各協(議)会への情報提供により応募促進を行う。

令和元年度「全森建」表彰式を挙

令和元年度「全森建」表彰式を

6月19日(水)の午後16時10分から霞山会館「霞山の間」において、定時総会に先立ち執り行いました。

受賞者は、永年にわたり森林土木事業の発展向上に寄与した2名の方に對し、牧元林野庁長官から「林野庁長官表彰状」が授与されま

した。

また、同様の功績のあった2名の方々、労働安全部門で実績のあった2団体、1事業場の企業の会員並びに個人の部1名の方に對し、嶋崎会長から「全森建会長表彰状」が授与されました。

受賞された皆様は次のとおりです。

氏名		所属協（議）会	
菅家 洋一	福島県森林土木建設業協会	猪俣 茂	新潟県建設業協会農地農林委員会
金子 堅造	埼玉県森林土木建設業協会	浅沼 秀俊	福島県森林土木建設業協会
菅家 洋一	福島県森林土木建設業協会	高橋 伸幸	（一社）新潟県建設業協会農地農林委員会

氏名		所属協（議）会	
代表取締役 今村伊久雄	長崎県森林土木建設業協会	代表取締役 近藤 克成	福島県森林土木建設業協会
代表取締役 廣神 孝俊	群馬県森林土木建設協会	代表取締役 廣神 孝俊	群馬県森林土木建設協会

氏名		所属協（議）会	
代表取締役 今村伊久雄	長崎県森林土木建設業協会	代表取締役 近藤 克成	福島県森林土木建設業協会
代表取締役 廣神 孝俊	群馬県森林土木建設協会	代表取締役 廣神 孝俊	群馬県森林土木建設協会

氏名		所属協（議）会	
代表取締役 今村伊久雄	長崎県森林土木建設業協会	代表取締役 近藤 克成	福島県森林土木建設業協会
代表取締役 廣神 孝俊	群馬県森林土木建設協会	代表取締役 廣神 孝俊	群馬県森林土木建設協会

令和元年度
第1回正・副会長会議、第2回・第3回理事会
を開催

6月19日(水)午後2時、定時総会
に先立ち霞山会館「桃源の間」に
おいて、「第1回正・副会長会議」
を開催し、午後3時からは「牡丹



牧元長官、嶋崎会長を囲んで
全森建会長表彰受賞者



牧元長官、嶋崎会長を囲んで
林野庁長官表彰受賞者

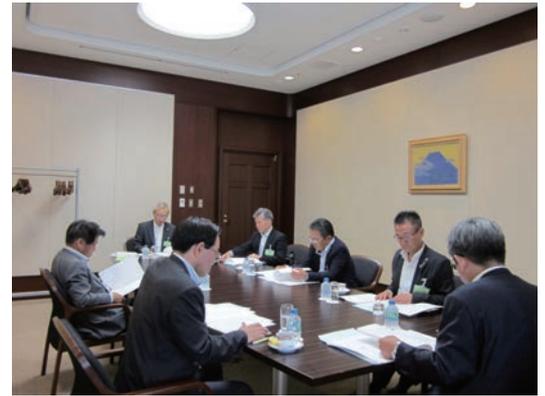


受賞者代表謝辞
菅家 洋一さん
（福島県森林土木建設業協会）

(一社)全国森林土木建設業協会 新役員名簿

令和元年 6 月 19 日

役職	氏名	所属協(議)会
会長	嶋崎 勝昭	(一社)高知県森林土木協会
副会長	幌村 司	(一社)北海道森林土木建設業協会
〃	山藤 浩一	群馬県森林土木建設協会
〃	猪俣 茂	(一社)新潟県建設業協会農地農林委員会
〃	西 覺嗣	三重県森林土木建設協会
〃	秋山 智洋	山口県森林土木建設協会
〃	竹尾 通洋	宮崎県森林土木協会
理事	村岡 淑郎	秋田県森林土木建設業協議会
〃	菅家 洋一	福島県森林土木建設業協会
〃	山口 敬善	埼玉県森林土木建設業協会
〃	榎森 厚志	東京都森林土木建設業協会
〃	高尾 道明	(一社)富山県建設業協会林務委員会
〃	鳴海 伸明	(一社)岐阜県建設業協会林政部会
〃	海邊 俊行	和歌山県林業土木振興協議会
〃	田村 和広	岡山県森林土木建設協会
〃	牟田 正明	佐賀県治山林道協会
〃	川平 賀継	沖縄県森林土木協議会
〃	津元 頼光	(一社)日本治山治水協会
専務理事	高畑 博之	(一社)全国森林土木建設業協会
監事	野澤 孝之	(一社)山梨県建設業協会林務部会
〃	林 登良夫	石川県森林土木協会
〃	植崎 茂	税理士



第 1 回正・副会長会議



第 2 回理事会

国会・林野庁に
要望書を提出

の間」において「第 2 回理事会」を開催しました。
両会議においては、令和元年度定時総会に付議する承認事項、報告事項等について審議が行われ、全て原案どおり了承されました。
午後 5 時 45 分から霞山会館「祥鶴の間」において、「第 3 回理事会」を開き、定時総会で選任された理事の中から、会長、副会長及び専務理事の選定を行い、新体制がスタートしました(新役員については表のとおり)。

定時総会の翌日、6 月 20 日(木)、嶋全森建会長は、副会長とともに、林野庁長官、次長をはじめ幹部の方々を訪れ、定時総会で決議された要望書を手渡し、①豪雨災害等、激甚化する災害に対する山地防災力強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、総合的な流木対策等の治山対策の強力な推進、②林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の実現に不可欠な幹線林道等路網ネットワークの着実な推進、③治山対策、路網整備等の取組を推

進する森林土木事業予算の拡充・強化など大きく 5 項目について要望を行いました。



本郷林野庁次長(当時)への要望



牧元林野庁長官(当時)への要望

次いで、吉川農林水産大臣はじめ関係国会議員を訪れ要望活動を行いました。

◎ 要望書

私共、全国森林土木建設業協会は令和元年度定時総会に際し、国土の保全や林業生産基盤の整備に大きな役割を果たしている森林土木事業を促進するとともに、森林土木工事の品質確保とその担い手の確保を図るため、次のとおり決議いたしました。

つきましては、この決議の実現に向け特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

令和元年 6月19日

一般社団法人

全国森林土木建設業協会

会長 嶋崎 勝昭

決議

東日本大震災や熊本地震などが国を襲う未曾有の地震災害からの復旧・復興の着実な推進が急務

とされている中であって、昨年7月の西日本豪雨や9月の北海道胆振東部地震のように、近年全国各地で台風・前線等に伴う集中豪雨、地震等による大規模な山腹崩壊等激甚な災害が多発し、貴重な人命・財産が失われるなど国民生活の安全・安心を脅かす状況にある。また、南海トラフ地震の発生が懸念される状況となり、津波等による大災害に備える必要性がある。

このため、山地防災力の強化に向けた災害に強い森林づくり、津波に強い海岸防災林の整備等の総合的な治山対策により地域の安全・安心を図る「緑の国土強靱化」の強力な推進が喫緊の課題となっている。

また、我が国の林業生産活動は、路網整備等生産基盤の立ち遅れや担い手の減少などにより長期にわたり停滞するとともに、それを支える山村地域も過疎化・高齢化の進行など厳しい状況にあり、国土保全、地球温暖化防止、木材生産等森林の有する多面的機能の十全な発揮が懸念される状況となっている。

このため、新たな森林管理システムが導入される地域を中心に、間伐や路網整備等を推進し、林業の成長産業化と森林資源の適切な

管理の実現を図るとともに、地球温暖化防止等に貢献することが重要な課題となっている。

また、これらの施策を着実に進めるためには、事業の担い手である地域の企業の取組が評価され、企業育成につながる事が課題となっている。

これらの課題に対応し施策を着実に推進するため、次の事項の実現を強く要望する。

記

- 1 豪雨災害等、激甚化する災害に対する山地防災力強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、総合的な流木対策等の治山対策の強力な推進
- 2 東日本大震災からの復興や今後発生が懸念される南海トラフ地震に備える海岸防災林の整備推進
- 3 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の実現に不可欠な幹線林道等路網ネットワークの着実な実現
- 4 治山対策、路網整備等の取組を推進する森林土木事業予算の拡充・強化
- 5 地域の企業が持続的に事業の担い手となるよう、事業の設計・積算、発注等において次の

各事項を盛り込むこと

- (1) 森林土木事業の厳しい施工実態に即した、設計・積算・歩掛の確立、施工パッケージ導入等による適正な利潤の確保

- (2) 週休2日の実現に向けた就業環境整備として、生産性の向上をはじめ、適正な工期設定・工程の共同管理、施工時期の平準化、適切な設計変更等に関する発注者・受注者双方の連携と取組強化
- (3) 支障木の伐採・搬出等、その処理の適正な実施による森林土木工事の円滑な実施
- (4) 総合評価落札方式等における資格要件として、災害協定締結、森林分野C/P/D等の適正な評価
- (5) 森林土木事業における女性技術者・技能者の進出・活躍が可能となる環境の創出
- (6) リスクアセスメントの普及定着等による重大災害の絶滅等安全衛生の確保と福祉の向上

右決議する

令和元年 6月19日

一般社団法人

全国森林土木建設業協会

「森林整備・治山事業促進議員連盟」 総会開催

令和元年5月30日(木)、自由民主党本部6階「603会議室」において、山口俊一会長、田村憲久幹事長をはじめ、19名の衆参両院議員のご出席の下、西村明宏事務局長の司会により、今年度の総会が開催されました。

林野庁の織田森林整備部長から、国土強靱化に向けた適切な森林の整備・保全、治山事業による事前



議連総会で発言する嶋崎会長

防災・減災対策の強化、主伐後の再造林及び路網整備の着実な推進、林野公共事業(森林整備事業・治山事業)の予算推移について説明が行われました。

次いで、嶋崎会長も発言を求められ、『現在、まだ全国には多くの山地災害の危険箇所や荒廃森林が存在するとともに、法面崩壊の危険性の高い林道も数多く存在している。』

一方、新たな森林管理システムの下で、林業成長産業化を推進していくためには、幹線林道の整備の加速化と、既存の林道施設を災害に強い林道に改良整備して有効活用していくことが重要となっている。

したがって、令和3年度以降も、将来を見据え、土石流災害や流木災害の未然防止・軽減のための計画的な予防治山対策並びに林道の開設・改良整備等長寿命化対策及び森林整備対策を講じる予算の確保について、引き続きのご尽力をお願いしたい。』旨強く要望されました。

最後に、「令和2年度当初予算における林野公共事業予算に関する決議」が、満場一致で採択され、財務省等関係部局に対して要請活動を展開することとされました。

林野庁人事異動

次のとおり異動がありました。

令和元年7月8日付

◎林野庁関係

◇農村振興局長兼復興庁付

牧元 幸司

(林野庁長官)

◇林野庁長官

本郷 浩二

(林野庁次長)

◇林野庁次長

太田 豊彦

(農村振興局次長)

◇生産局畜産部長

渡邊 毅

(林野庁林政部長)

◇林野庁林政部長

前島 明成

(大臣官房秘書課長)

◇林野庁森林整備部長

小坂善太郎

◇林野庁国有林野部長

織田 央

(林野庁森林整備部長)

協会の動き

森林土木総合技術研修(中央研修)

(東京都千代田区)

7月24～26日

ブロック会議開催予定

北海道・東北ブロック(宮城県) 10月3日～4日

関東・甲信ブロック(神奈川県) 11月13日～14日

中部ブロック(新潟県) 10月24日～25日

近畿ブロック(保留)

中国・四国ブロック(山口県) 11月7日～8日

九州ブロック(沖縄県) 11月21日～22日

編集後記

◎埼玉県森林土木建設業協会から、表紙の写真とともに「下諏訪神社の境内で行われる獅子舞」(飯能市下名栗)の写真の提供がありましたので紹介します。

